



小・中学校 | ICT教育の推進

？ なぜこの事業を行なっているのですか？

平成21年1月現在で、一般の家庭におけるパソコンの普及率は、87.2%となっています。また、社会人の場合は、書類を作ったり、Eメールでの連絡など、仕事上、パソコンを頻繁に使っています。このように、現在、私達は、日々の暮らしでICT（※解説①）に触れる機会がとて多くなっています。

一方で、いわゆる出会い系サイトやブログなどから犯罪が誘発される例もあり、インターネット上の有害な情報への対応が社会問題となっています。

そこで、より感覚的・体験的な学習を取り入れて、授業への関心や意欲、理解度を高め、子どもの学力の向上へつなげるとともに、情報モラル教育を推進するため、ICTを活用した教育を進めています。

合わせて、学校の「情報化」を進めることで、教員が行う校務（※解説②）を効率化し、授業以外の負担の軽減も図っています。

？ どのようなことを行なっていますか？

以下のような授業を展開しています。

【国語】

児童に実物投影機を通して「ひらがな」を書かせ、その字をモニター（地上デジタル放送対応テレビ）に映し、全員で確認することができました。（小学校1年）

【理科】

では、インターネットで検索した「モンシロチョウの羽化」についてのデジタルコンテンツをモニターに映し、隣りに実物投影機を通してアゲハチョウの幼虫を映し、比較しました。（小学校3年）

【体育】

跳び箱の授業で、児童の跳ぶ姿をデジタルカメラで撮影し、モニターに映して「良い所」について話し合いました。（小学5年）

? 事業の進み具合はどうか?

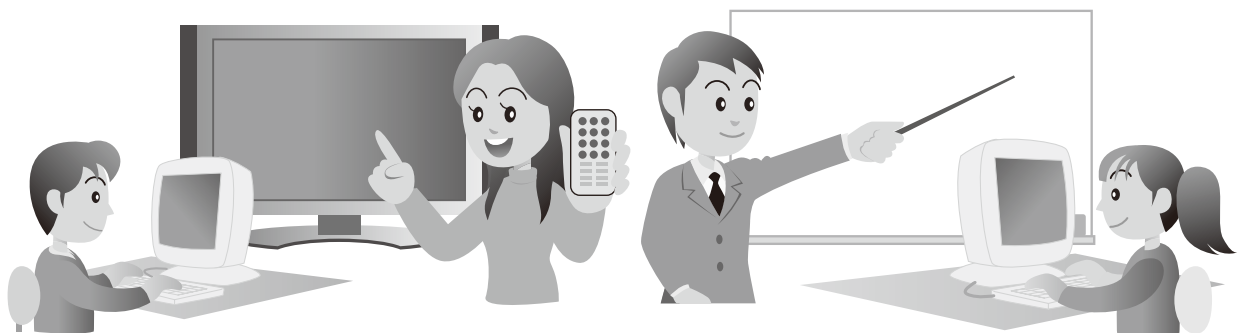
平成21年度には、区立小学校全校の普通教室と区立中学校全校の特別教室に、50インチの地上デジタル放送対応テレビ（以下地デジ対応テレビ）を導入するとともに、全校の校内LAN（※解説③）の整備を行いました。これにより、デジタルカメラで撮影したものや実物投影機をとおして地デジ対応テレビに映し出し、児童・生徒にとって視覚的に分かりやすい授業づくりに努めています。

平成22年度には、「ICT実践開発校」として、小学校2校、中学校1校をICT実践開発校として指定し、具体的な教育活動に取り組んでいます。これらの3校には、地デジ対応テレビ台数と同じ数の「電子黒板用タッチパネル及びファンクションキー」と「実物投影機」を導入しました。

? 今後はどのように取り組んでいくのですか?

ICT実践開発校での教育活動の結果について、区内の全小中学校で情報を共有するとともに、その成果や課題を検証して、今後の全小中学校への展開に備えていきます。

また、教員のICTを使った指導力の向上に努め、学力の向上を図っていきます。



■ この事業に関するお問合せは ■

教育委員会指導課

03-5246-1453

【解説】

① ICT

情報 (Information) や通信 (Communication) に関する技術 (Technology) の総称です。

② 校務

学校の事業を行うために必要な仕事のことです。教育課程に基づく学習指導などの教育活動に関することや、学校の施設設備、教材教具に関すること、会計事務などの学校の内部事務に関すること、教育委員会などの行政機関やPTA、社会教育団体などとの渉外に関することなどがあります。